

# 防災連絡会議だより

13号（令和3年5月14日）

発行 北斗市防災連絡会議

## 総会（書面表決）の報告

令和3年度北斗市防災連絡会議総会の書面による表決結果を報告いたします。

- 令和3年4月1日現在 会員（総会議決権を有する会員） 57名
- 書面表決書返答数 42名

以下議案の承認可否については、「北斗市防災連絡会議規約第7条3項」により出席者（書面表決者）の過半数とします。

### 第1号議案 令和2年度活動報告

賛成 42 反対 0 よって本議案は承認

### 第2号議案 令和3年度活動計画

賛成 42 反対 0 よって本議案は承認

## その他

同封した会員名簿の所属町内・自治会名と氏名のふりがなに誤りがあり、2名からご指摘をいただきました。

他3名から、会の運営に対し激励がありました。以上、結果をご報告いたします。

北斗市防災連絡会議事務局長 小坂正一

.....☆

防災に関する最近のニュースをお伝えします！

## 大雨警戒レベル4「避難指示」に一本化

災害時に市区町村が発令する避難勧告を廃止し、避難指示に一本化する改正災害対策基本法が4月28日、参院本会議で全会一致により可決、成立。分かりにくさを解消するため、表1にあるように、大雨・洪水警戒レベルを改正。運用開始は5月中の予定。また、高齢者ら「災害弱者」の避難支援のため、市区町村に「個別支援計画」作成の努力義務を課している。こうした改正について、静岡大学の牛山素行教授は「ハザードマップの理解が大事であり、住民の側もレベル3の『高齢者等避難』は高齢者のためだけの情報ではなく、一般の人の行動を見直す情報でもあるので、早めの備えに活用してほしい」と話しています。

☆表1 災害対策基本法の一部改正に伴う大雨警戒レベルの変更

警戒レベル3	避難準備・ 高齢者等避難準備	→	高齢者等避難
警戒レベル4	避難勧告	→	避難指示
警戒レベル5	災害発生情報	→	緊急安全確保

左の表は改正前と改正後を記しています。詳細については情報をご確認のうえ、町内会の会員へお伝えください。

※警戒レベル1と2は変更なし

### 高温注意報から熱中症警戒アラートへ

(気象庁・環境省) 2021年4月28日から



Q1 高温注意報って何ですか

A1 2011年の東日本大震災により、省エネルギーや節電対策がとられるようになったため、気温の上昇による熱中症が問題となり、気象庁では、「高温注意情報」を発布することにしました。

Q2 なぜ高温注意情報から熱中症警戒アラートに変更したのですか

A2 高温注意情報の発表基準は、最高気温の予想が35度以上の猛暑日になった時です。熱中症の危険性は、気温だけで決まるのではなく、湿度など含めた体感温度で決まります。このため、高温注意情報は熱中症対策には利用しづらいものでした。

Q3 何を基準として熱中症対策を?

A3 アメリカの陸軍が利用した「暑さ指数(WBGT: wet-bulb globe temperature)」です。暑さ指数は、温度や湿度、日差しの強さなど、人体と外気の熱のやりとり(熱収支)に着目した値です。これをもとに、「暑さ指数」31度以上が危険ですが、「熱中症警戒アラート」の基準は、さらにその上の33度です。4月28日から「熱中症警戒アラート」の運用を全国で始めました。

※詳細については気象庁、ウエザーニュースのホームページをご覧ください。

### フィールドワーク第2弾 活断層のある大野地区を歩く

昨年度は役員を中心とした浜分地区でのフィールドワークでした。今回は第2弾として、活断層のある台地の様子を見学します。また、大野川の右岸にある露頭(地層が見えるところ)を観察し、堆積物についての説明を受けます。活断層は1995年、北海道教育大函館校の研究者によるトレンチ調査(断層があると予想した場所を掘る)によりその存在が明らかとなりました。ここに断層があることは地形図からわかっていたようです。私も活断層を見ていますが、逆断層のこの断層は函館西縁断層群と呼ばれ、函館湾まで続いていることが

その後の調査で分かっています。今は埋め戻されていますが、専門家が案内するフィールドワークはめったにありませんので、ぜひこの機会に断層地形をご覧になっていただきたいと思います。



集合場所は地図に○印のある鹿島橋付近の河川敷です。ルートは国道228から上磯高校前、戸切地陣屋前を北に進み、枝垂桜で有名な法亀寺を通過し、大野川に沿った道路を真っすぐ北に進みます。大野川にかかる鹿島橋を渡り、左折してください。すぐに左折となりますので、鹿島橋を徐行しながら渡り、注意して左折してください。開催要項の中の注意事項も読まれてご参加をお願いいたします。1995年にトレンチ調査で活断層が見つかった場所は、道南試験場の敷地内で、地図に鹿島橋の下に果樹の地図記号があるところです。今は果樹園がありません。

### 町内会の広報誌をもっと身近なものに

町会連合会の運営に関する調査報告（令和3年2月）によると、広報誌を発行している町内会は87町内会のうち57の町内会で、全体に占める割合は約66%となっています。毎月発行している町内会もあり、会員をつなぐものとして大切にされているようです。コロナ禍の中で、行事が中止され記事不足という問題もあるようですが、私個人としては連絡会議主催で、今年の秋か冬に防災に関する記事が書かれた町内会の広報誌や防災だよりなどの防災通信のコンクールを開催したいと思っています。できれば、連合町内会でこのような企画をしていただくと助かります。こんな時だからこそ、各町内会を元気づけるそんな企画をともに創りだしたいと思いますが、いかがでしょうか。



「ひまわり町会」と「大工川親交会」の昨年8月発行の防災通信の一部をご紹介します。新型コロナウイルスに関する話題が多かったわけですが、この2つの紙面から昨年の夏の動きを見てみましょう。※防災通信を発行している町内会は、事務局まで送ってください。

### まもなく台風の季節がやってきます！！

令和2年7月豪雨（気象庁が命名）九州と本州に停滞した梅雨前線による集中豪雨で、九州7県と岐阜、長野両県で住宅被害4,700棟以上、被災世帯20万2千世帯、約45万人に避難指示が出され、現在も体育館等の避難所で生活を余技なくされている人たちがいます。

北斗市町会連合会では、被災者へ送る災害義援金の募金を予定しております。募金が始まりましたら、ご協力よろしく申し上げます。

いつ起こるかわからない地震・津波、そしてこれからやってくる台風、災いはいつ起こるかわかりません。普段から乾電池、飲料水、その他生活に必要な物を予め、多めに用意しておきましょう。北斗市広報 7 月号の防災特集『感染症に対応する避難所運営について』を家族みんなで読みましょう。  
〈ひまわり町会防災だより〉

## 飯生・常盤地区町会連絡協議会主催の防災研修会開催される

高齢者センターで 7 月 29 日開催される

防災研修会が先月の 29 日開催され、9 町内会から会長、役員、市の防災担当者など 27 人が参加しました。この研修会は 7 月の九州での豪雨災害を受け、戸切地川のハザードマップの学習と感染症対策に対応する避難所運営について学ぶために急遽開催されたものです。感染症問題もあり会長を中心とする少数の研修会となりましたが、タイムリーな研修会となりました。地区町会連絡協議会に属する 10 町内会は洪水時、避難所を同じくする町内会の集まりともいえるものです。これからも 10 町内会が結束して様々な地域の問題解決に向けた取り組みをお願いしたいと思います。

北斗市は「ハザードマップハンドブック」を全戸配布し、その後、ハザードマップについて町内会での説明会を開催する予定です。  
〈大工川親交会防災ニュース〉

## 北斗桜回廊に行く



雑踏を避けての花見をしようと、北斗桜回廊開催前に清川、戸切地陣屋、法亀寺を訪れる。清川のソメイヨシノの千本桜とシダレザクラは車窓から。

陣屋の桜の見どころは何と言っても桜の並木道。残念ながら、桜の開花は 3 分咲き程度かな？

今年の桜は開花も早く、陣屋まつりの頃は満開となりそうだ。数年前、鳥の「ウソ」の食害により無残な姿となった桜並木。うそのような話であるが、今年はそのような心配はなさそう。ちなみに

回廊とは長い曲線の廊下のことで、大切な桜と桜を結ぶ道が北斗桜回廊なのだろう。桜のライトアップもはじまり、桜と満月の両方が楽しめそうだ。28 日の夜は雲がかかり、朧月が。朧月・朧月夜という言葉を知ると、なぜか懐かしい子供の頃に過ごした故郷を思い出す・・・

※写真は今年の戸切地陣屋桜並木

事務局 北斗市総務部総務課交通防災係

電話 73-3111 (内線 212) Fax 73-6970 メール bosai@city.hokuto.hokkaido.jp